

2015年3月30日

関係先各位

株式会社 四季リゾート

企業保養所等有効活用事業会社「(株)四季リゾート」
箱根で直営施設を拡大、9施設体制に
～強羅・仙石原に続き小涌谷でも複数施設で連携～

「株式会社 四季リゾート(本店:横浜市港北区)」は、高品質な企業等の保養所を運営受託あるいは賃借し、「365日いつでも1泊5,000円(税抜)」をコンセプトとする「四季倶楽部」シリーズを展開、企業保養所兼一般旅行者向けの泊食分離型ホテルを運営しています。

現在、全国26施設・268室の企業保養所を自ら運営(直営)するほか、既存の旅館・リゾートホテルとも提携販売し、年間宿泊者総数も約15万人に上っています。

このたび、日本有数の温泉観光地、箱根(神奈川県足柄下郡)において、新たに、企業保養所の運営を受託、直営施設を拡大する運びとなりましたので、お知らせします。

新規施設となる「四季倶楽部 箱根仙泉閣(10室)」は4月25日(土)にオープンします。箱根登山鉄道の途中駅「小涌谷」に所在し、箱根駅伝のコース沿いに建つ閑静な和風建築の本施設では、箱根七湯の一つに数えられる宮ノ下温泉を源泉かけ流しで楽しめます。この拡大により、箱根の直営施設は9施設となり、小涌谷地区においては既存の「四季倶楽部 ヴィラ箱根80(12室)」とあわせ、運営面における様々なシナジー効果を見込むほか、箱根全体という視点からは、仙石原地区の3施設、強羅地区の2施設、宮城野および元箱根の各1施設とともに、全9施設100室体制により、温泉も周辺観光スポットも夫々異なる、様々な魅力を提供していきます。

また、今回の拡大は、昨今の景気回復や海外からの旅行者の増加による箱根の宿泊者増を受けたものという側面のほか、弊社特有の理由として、1施設を1家族やグループで丸ごと独占利用できる『貸切プラン』の好調な推移(平成26年利用実績:191件・4,359名)や、宿泊人数で料金が変わることのない弊社料金システムと一人旅需要のマッチングによる1名利用の急増(平成26年の予約全体に占める割合と利用実績:12.1%・6,337名)、さらには、新たに開始した取組みである、個人旅行のなかでも比較的人数の多い親族での旅行や職場旅行等に対応すべく1件10名を超える予約に対して6か月前から予約可能とした『先ドリ』の好調な滑り出し(通常は2か月前から予約開始)、などを踏まえたものです。

今回の拡大に伴い、全国の「四季倶楽部」および「四季倶楽部プレミアム」は、直営施設数が27、提携施設数が45となります。

弊社では、今後も「日本の四季を気軽に楽しむ旅」を提供すべく、施設の拡大と運営内容の充実を積極的に推進してまいります。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 四季リゾート : TEL045-476-5977

<新規直営施設：概要>

1. 四季倶楽部 箱根仙泉閣

所在：神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷483-2

敷地面積：2,925.21㎡

延床面積：1,085.50㎡

部屋数：10室（全室和室、トイレ付。）

付帯施設：温泉大浴場（男女各1）、レストラン、麻雀ルーム

予約開始：2015年4月1日

開業：2015年4月25日

(施設外観)



(客室)



(温泉)



(中庭)



(ご参考)

●「株式会社 四季リゾート」概要

- ・設立年月日：2001年2月14日
- ・資本金：45百万円
- ・本店所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜3-6-5 新横浜第一生命ビルディング4階
- ・取締役社長：山中 直樹

●「(株)四季リゾート」のビジネスモデル概要

○保養所所有者の経費を大幅に削減

これまで、保養所のリストラとして行われてきた取組みは、施設の運営管理のアウトソース、あるいは保養所そのものの縮小・閉鎖が殆どでした。しかし、運営管理のアウトソースの場合、保養所設備の修繕費や水道光熱費を始めとする運営に係るランニングコストは全て所有者負担のままであり、大幅な経費削減効果は見込めませんでした。

「(株)四季リゾート」では施設の経営全般を受託した上で、修繕費等のランニングコストを負担することにより、所有者は経費を大幅に削減することが可能となります。

このスキームをベースとした試算では、箱根・軽井沢等の首都圏主要リゾート地にある平成元年以降に竣工した比較的新しい平均的規模の保養所であれば、所有者の資金支出は殆ど「ゼロ」にすることが可能です。

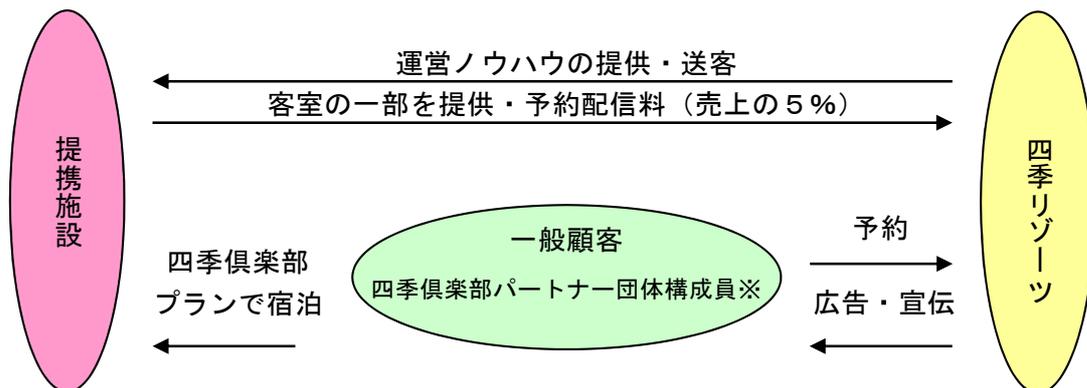
○保養所を一般旅行者向けに営業しつつ福利厚生機能も確保

「株四季リゾート」は、保養所を所有する企業等から施設の経営を受託し、一般の旅行者に対しても一部開放するとともに、保養所オーナーの構成員には施設部屋数の一定割合（繁忙期7割・閑散期5割）の利用優先権を与えることで、福利厚生機能も確保しています。

○既存旅館との提携

提携した旅館は客室の一部を四季リゾートに提供。お客様は四季リゾートの予約センターを通じて、それらの客室を1泊5,000円の四季倶楽部プランで宿泊することが可能となります。既存旅館は、それにより稼働率の向上を図るとともに、従前のオペレーションを四季倶楽部の運営システムの一部変更することでコスト削減を図ります。また、四季リゾートは現在の直営施設に加えて、提携施設を増やすことで、四季倶楽部に対する旺盛な需要に応えます。

【提携の具体的内容】



※四季倶楽部パートナー団体構成員とは、四季倶楽部が運営する保養所の所有団体および四季倶楽部を保養所として活用する団体の構成員を指し、現在約660万人。

●四季倶楽部シリーズの開業（提携）年月

【直営】	四季倶楽部	名称	開業年月	部屋数	所有権
		フォレスト箱根	2001年5月	(17室)	
		強羅彩香	2003年4月	(18室)	: 当社所有
		ヴィラ箱根80	2003年4月	(12室)	
		アイソネット草津	2003年4月	(6室)	
		強羅スタイル	2004年2月	(7室)	
		八ヶ岳エレガンス	2005年4月	(11室)	: 当社所有
		エスプラート伊豆高原	2005年10月	(6室)	: 当社所有
		軽井沢東昇荘	2005年10月	(6室)	
		ベルフォーレ那須	2007年4月	(22室)	: 当社所有
		箱根星の家	2007年6月	(6室)	
		プレーゴ葉山	2007年7月	(12室)	
		定山溪プライム	2007年8月	(5室)	
		ゆの香湯布院	2007年8月	(8室)	
		蓼科エトワール	2007年8月	(9室)	
		箱根アルパインハウス	2007年12月	(12室)	
		箱根和の香	2008年4月	(12室)	: 当社所有
		熱海青青荘	2009年4月	(6室)	: 当社所有
		伊豆エルミタージュ	2009年4月	(5室)	
		京都加茂川荘	2009年10月	(12室)	
		飛騨高山荘	2009年10月	(10室)	
		シオン熱海	2009年10月	(7室)	
		ホワイエ箱根	2009年12月	(6室)	
		あたま小嵐荘	2011年4月	(18室)	
		レヴェシエ三浦海岸	2011年4月	(11室)	
		ヴァンペール軽井沢〔四季倶楽部プレミアム〕			
			2012年4月	(10室)	
		熱海望洋館	2012年6月	(14室)	
		箱根仙泉閣	2015年4月	(10室)	

【提携／東北】

・「愛真館」	2007年6月	(5室 (全客室 98))
・「八幡平ライジングサンホテル」	2013年4月	(2室 (全客室 60))
・「ホテル鹿角ゆとり館」	2007年3月	(5室 (全客室 92))
・「ホテルリッチ&ガーデン酒田」	2007年1月	(5室 (全客室 124))
・「猪苗代四季の里」	2006年12月	(5室 (全客室 24))
・「羽鳥湖リゾートレジーナの森」	2007年12月	(4室 (全客室 59))
・「紅葉館 きらくや」	2007年1月	(2室 (全客室 27))

【提携／関東・甲信越】

・「ひがきホテル」	2006年8月	(9室 (全客室 84))
・「文化北竜館」	2007年1月	(5室 (全客室 54))
・「ホテル星川館」	2007年7月	(3室 (全客室 53))
・「白馬西洋館扇屋」	2007年12月	(5室 (全客室 27))
・「油屋旅館」	2011年2月	(3室 (全客室 36))
・「黒姫ライジングサンホテル」	2013年4月	(2室 (全客室 57))
・「乗鞍ライジングサンホテル湯楽里」	2013年4月	(2室 (全客室 19))
・「乗鞍ライジングサンホテル山百合」	2013年4月	(2室 (全客室 23))
・「よませライジングサンホテル明幸」	2013年4月	(2室 (全客室 41))
・「ホテルホワイトイン北志賀」	2013年4月	(2室 (全客室 18))
・「ゆうリゾートホテル」	2013年4月	(2室 (全客室 33))
・「ホテル古柏園」	2006年2月	(5室 (全客室 41))
・「NASPAニューオータニ」	2007年5月	(5室 (全客室 232))

【提携／中部・東海】

・「ホテルパーク」	2006年12月	(5室 (全客室 77))
・「ホテルヴィラ・モンサン」	2013年4月	(3室 (全客室 50))
・「離れのお宿 松風苑」	2006年12月	(2室 (全客室 13))

【提携／近畿】

・「勝浦観光ホテル」	2006年12月	(5室 (全客室 54))
・「神戸メリケンパークオリエンタルホテル」	2010年3月	(2室 (全客室 319))
・「奥琵琶湖マキノグランドパークホテル」	2013年4月	(3室 (全客室 58))

【提携／中国】

・「ゆのごう 美春閣」	2006年12月	(5室 (全客室 87))
・「鷺羽山下電ホテル」	2006年12月	(5室 (全客室 113))

【提携／四国】

・「ホテルサンシャイン徳島」	2006年10月	(5室 (全客室 100))
・「道後グランドホテル」	2006年10月	(5室 (全客室 67))
・「土佐御苑」	2006年10月	(5室 (全客室 95))
・「オーキドホテル」	2006年12月	(5室 (全客室 81))

【提携／九州・沖縄】

・「ホテルサンライン福岡大濠」	2006年8月	(5室 (全客室 77))
・「ホテル長崎」	2006年8月	(5室 (全客室 49))
・「長崎温泉 やすらぎ伊王島」	2006年8月	(5室 (全客室 122))
・「富貴屋」	2006年7月	(5室 (全客室 77))
・「ホテルサンバリー」	2007年4月	(5室 (全客室 95))
・「ホテルサンバリーアネックス」	2007年4月	(5室 (全客室 150))
・「ベストウエスタンホテルフィーノ大分」	2009年7月	(7室 (全客室 145))
・「リゾート&スパ ホテルセキア」	2009年7月	(10室 (全客室 153))
・「ANAクラウンプラザホテル熊本」	2009年11月	(10室 (全客室 186))
・「サンホテルフェニックス」	2007年1月	(5室 (全客室 296))
・「ホテルジェイズ日南リゾート」	2007年1月	(5室 (全客室 101))
・「東京第一ホテル オキナワグランメールリゾート」		

- ・「沖縄カフーリゾートフチャク コンド・ホテル」
 - 2006年8月 (5室 (全客室 300))
 - 2011年4月 (2室 (全客室 249))